

基本政策部会における意見から導き出される 時代の潮流の変化と新たな計画の在り方に関する視点・論点

平成 18 年 3 月 24 日

21世紀の我が国における北海道の特性について

- ・ 歴史ある地域に比べて北海道はオープンである。[川島委員]
- ・ 北海道の独自の歴史、風土、豊かな自然、低い人口密度を活用して独自の路線を歩めるかが重要。[家田委員]
- ・ 豊かな大自然があることや未開拓な土地など将来の可能性が残されていることが魅力。[川島委員]
- ・ 北海道の冷涼な気候も有利な要素。[山本(邦)委員]
- ・ 北海道はビジョンの描きやすい地域。[根本委員]
- ・ 人々の生活の中にある開拓精神などソフトの資産も重要。[生源寺委員]
- ・ 北海道では集落特有の閉鎖性が薄い。[生源寺委員]
- ・ 質や量といったスケールでは、文化的な側面など、北海道の現状を表しきれない場合がある。[加藤委員]
- ・ 有効求人倍率が低いことは働き手がいるということも示している。人口密度が低いことも、騒音問題等から製造業者にとって悪いことではない。[石橋副社長(狩野委員代理)]

冷涼な気候を有し、東アジアとロシア極東地域との接点に国土の22%を占めて位置する北海道は、我が国の経済社会に、フロンティアとしての可能性と同時に、他とは異なる地としての多様性と役割を与えているのではないか。

- ・ 資源には、インフラなど人がつくった資源、人間とそのさまざまな能力がつくる人的資源、人のネットワークの力である社会関係の資源、それ全体を包み、支えるものとしてナチュラルキャピタル(自然資源)がある。地域の発展を考えると、それらをバランスよく考慮しなければならないことは国際的共通理解。北海道という土地を考えると、他の地域から差別化でき優位に立つのは、ナチュラルキャピタルの豊かさである。[鷲谷委員]
- ・ 北海道全体の活力向上(経済力)と、広大な国土、非常に貴重な資源を持った地域を管理していく(地域管理)という2つの視点があり、両者のバランスが重要。[小磯委員]
- ・ 北海道の森林の2/3は天然林であり、それを自然資源として捉えることが必要。[山本(博)委員]
- ・ 北海道の冷涼な気候も有利な要素。[山本(邦)委員]

広域分散型社会である北海道は、グローバルな視野から見ても、良好な人的な資源と社会基盤が、豊富で厳しくもある自然資源と密接に共存し、個性豊かな地域を形成しているのではないか。

- ・ 北海道が日本にとってどのような位置付けで、どのような存在価値を持つのか議論が必要。国の存在に関わる地域として北海道を打ち出すべき。[櫻井委員]
- ・ 何を視점에据えるのか、開発がターゲットとするところを考えなくてはならない。[加藤委員、櫻井委員]
- ・ 「持続可能な開発」が盛んに主張されており、北海道がフロンティアを目指すべき。[小磯委員]
- ・ 何も北海道が関東を目指しミニ東京になる必要はない。[家田委員、田中委員]
- ・ 北海道は、環境立国を打ち出せばかなり色々なことができる。[加藤委員]

➡ 21世紀において、我が国の持続的な成長の姿を展望するにあたり、北海道が有する貴重な価値・資源である地域の優位性を更に活かしていくことが、我が国への貢献につながるのではないか。

21世紀を展望した我が国の直面する課題

- ・ 地域のビジョンを考える際の重要なキーワードはグローバル化。[根本委員]
- ・ 中国の高所得者層が増加しており、安全、安心な食料のマーケットを開拓できる可能性がある。[山内委員]
- ・ 限られた地域資源、限られた環境容量の中で、これからの人口減少時代をどういった枠組みで発展していくかは大きな命題。[小磯委員]
- ・ 産業界のビジョンがまずあって、それを行政が助けるというスタンスが重要。[家田委員]

➡ 21世紀の我が国は、持続的・安定的な成長に向けて、人口減少・少子高齢化とグローバル化という極めて重要な環境の変化の中、人の力を高め、グローバリズムに対応しうる民の活力・地域の競争力の育成が急務となっているのではないか。

- ・ 資源には、インフラなど人がつくった資源、人間とそのさまざまな能力が作る人的資源、人のネットワークの力である社会関係の資源、それ全体を包み、支えるものとしてナチュラルキャピタル(自然資源)がある。地域の発展を考えると、それらをバランスよく考慮しなければならないことは国際的共通理解。[鷲谷委員]
- ・ 自然資源の減少は憂慮すべき事態であり、理念として自然環境保全を掲げるだけでなく、科学的データによる現状分析や在り方の検討を行うべき。[鷲谷委員]
- ・ 大規模自然災害への対応は重要な国家的課題。[濱田委員]

- ・ 国として、国土保全よりも更に大きな**国土防衛の観点**がより重要になっており、国民的な観点からも**地域に求められる役割が高まっている**。[櫻井委員]

・
・

➡ 環境の世紀と言われる中、経済と環境が両立する持続可能で、安全・安心な地域社会の形成のため、世界の模範となる人と資本と自然の調和的な関係を築き上げることが、国家的課題となっているのではないか。

・ 新たな時代の潮流の変化に対応し、北海道が国家的課題の解決に果たす役割

1. 企画調査部会報告における北海道の役割の今日的意義

1) 安全な食料の安定的供給

- ・ 緊迫する**食料安全保障問題の中で北海道の農業のあり方**をどのように考えるかということが重要。[石田委員]
- ・ 量的供給だけでなく、北海道から**安全・安心な質の高い食料を供給**すべき。この分野において、北海道がイニシアティブを取れる可能性は高い。[小磯委員、生源寺委員、根本委員、山内委員]
- ・ 加工・流通まで含めた一貫したシステム(**food chain**)等、**高付加価値化**が重要。[家田委員、生源寺委員]
- ・ 北海道は自給率1%の東京の**外食、中食産業に狙いをつけた戦略**を考えるべき。[牛尾委員]

・
・

➡ 安全な食料の供給、品質の良い高付加価値な食品の提供などがより重要になってきているのではないか。

2) 自然環境等の保全、資源・エネルギー問題解決への寄与

- ・ 今の消費水準のままでは、北海道は二酸化炭素排出削減目標達成の足を引っ張ってしまうが、**自然エネルギー活用**の観点からは、北海道ほど有利な地域はない。[鷲谷委員]
- ・ 北海道に豊富に存在するバイオマス資源、水素資源等を活用した**エネルギーの安全保障**を検討することが必要。[石田委員]
- ・
- ・

→ 北海道の豊かな自然環境等の保全と資源・エネルギー問題を一体的な課題として捉えることがより重要となってきたのではないか。

3) 観光・保養など国民の多様な自己実現や交流、生活の場の提供

- ・ 観光客増大の鍵を握るドライブ観光の工夫等、団体観光客だけでなく、**ニーズの高まる個人観光客に対応**することが必要。[石田委員、川島委員、越塚委員]
- ・ 北海道の**冬の魅力を引き出す**意味で重要な冬の観光は伸び悩んでいる部分があり、更なる工夫が必要。[濱田委員]
- ・ 観光行政と観光経営が連携すること、**北海道観光を高付加価値化させる**ことが課題。[石田委員、川島委員、越塚委員、濱田委員]
- ・
- ・

4) 国際交流拠点や教育の場としての貢献

- ・ 森林構造が類似するロシア・中国東北部・朝鮮半島などで森林破壊が進んでおり、北海道の森づくりの技術を活かすべき。東アジア全体を見据えて北海道を**人材育成の場、技術を磨く場**として位置付けるべき。[山本(博)委員]
- ・ **異質の地域への北海道の魅力発信と、同質の地域との交流**によってお互いを高め合うことの両者を検討することが必要。[小磯委員]
- ・
- ・

→ 国内外問わず、多様な文化の交流の場、知の拠点としての場としての北海道の価値・役割が高まっているのではないか。

2. 新たな時代の潮流の変化に対応する北海道の役割

1) 人口減少・少子高齢化社会

- ・ 人口減少は量でとらえれば厳しく感じられるが、一人当たり生産性等捉え方によっては悲観的になる必要はない。[石田委員]
- ・ 北海道において人口減少・高齢化は全国に先駆けて起こっている。先駆的取組を実施する役割を担うべきであり、壮大な社会実験への期待も含め、人口減少・高齢化に北海道がどう対応すべきか検討が必要。[石田委員、田中委員]
- ・ 限られた地域資源、限られた環境容量の中で、これからの人口減少時代をどういう枠組みで発展していくかは大きな命題。これにどう応えることができるかが、北海道総合開発計画の大きなテーマ。[小磯委員]

➡ 人口減少・少子高齢化の中で、活力のある地域社会のモデルを創出することが重要ではないか。

- ・ 農水産業では後継者の人材確保が最大の課題。[加藤委員]
- ・ 人口動向については、若年層の流出が課題。[濱田委員]
- ・ 人口減少を現実として受け止め、人の住むところとそうでないところを分けて検討すべき。[濱田委員]
- ・ 札幌一極集中と地方の過疎化の両方が進んでいるが、地方が札幌への人口の供給源となっている。お年寄りが地方部に住めなくなると都市に集中することになり、産業にも影響を与える。[北委員]
- ・ 医療の重点化、集約化と集約拠点へのネットワーク構築が重要。[北委員]

➡ 農山漁村の担い手の確保、コミュニティの維持など地域社会の維持や都市部と過疎地域との共生的な関係の構築などが課題ではないか。

2) 環境・エネルギー問題

- ・今の消費水準のままでは、北海道は二酸化炭素排出削減目標達成の足を引っ張ってしまうが、**自然エネルギー活用**の観点からは、北海道ほど有利な地域はない。[鷲谷委員]
- ・北海道に豊富に存在するバイオマス資源、水素資源等を活用した**エネルギーの安全保障**を検討することが必要。[石田委員]

➡ 自然資源と経済活動が調和した、グローバルモデルとしての環境・エネルギー対策を示すことが重要ではないか。

- ・**自然資源の減少は憂慮すべき事態**であり、理念として自然環境保全を掲げるだけでなく、**科学的データによる現状分析**や在り方の検討を行うべき。[鷲谷委員]

➡ 自然環境と共生し、環境負荷の少ない持続可能な循環型の経済社会の形成に向けて、先駆的・実験的な取り組みを積極的に展開することが重要ではないか。

3) グローバル化の進展と東アジアの成長

- ・中国市場の成長など、北海道の**世界的ターゲットを戦略的に検討**すべき。[山内委員]

➡ 北海道独自の位置づけ、在り方を創造し、ビジョンとして示すことが重要ではないか。

- ・オンリーワンを目指して**世界市場で勝負**できる北海道になればよい。[牛尾委員]
- ・北海道の開かれた過去に縛られない気質を活かして、日本で伸び悩んでいる**海外直接投資を呼び込む先進事例**になれる。[川島委員]
- ・国の観光政策の視点は、**国際観光客流入拡大に焦点**を置いているが、現状では北海道の外国人観光客の日本のシェアは5%程度。今後5年間で倍増させ、**10%のシェア**を何とか確保すべき。[越塚委員]

➡ 競争力を高めていくための先進的、具体的な戦略を構築することが重要ではないか。

4) 自立的安定経済への移行

- ・ 明確なビジョンも競争要素の一つであり、北海道にグローバル企業を誘致するためにもビジョンが必要。[根本委員]

➡ 人、財、資本、情報を世界から引きつける強い地域社会の姿をビジョンとして示すことが重要ではないか。

- ・ 北海道で生産したものを道内で消費するということは重要。[小磯委員]
- ・ 次期計画の中では、民間、特に金融が重要になる。北海道の金融については、国際的な情報を持った金融機関も考えながら将来の姿を見据えると良い。これにより、北海道と東アジアとの交流へつながっていくのではないか。[田村委員]
- ・ 金融については、どこにでも資金を供給するのではなく、伸びる産業に資金供給することが正しい金融の機能。何が成長産業か、それを見極める情報力が必要であり、そういった意味で金融は情報産業である。[松田課長(根本委員代理)]
- ・ 政策投資銀行の民営化後の北海道の金融構造についての展望を描いておくことが必要。[小磯委員、濱田委員]
- ・ 間接金融による融資で北海道に投資を呼び込むのはほとんど不可能。直接金融への切り替えという金融構造の変化が必要。[濱田委員]
- ・ 地域内に資金が循環する仕組みが必要。[小磯委員]
- ・ 札幌だけでなく、北海道全体が知の集積の中心となることが必要。[山内委員]
- ・ バイオなどは一定の技術集積があり、可能性を秘めている。これら集積を利用して、農漁業も取り込む形の裾野の広いバイオ技術の展開などを目指すべき。[加藤委員]

➡ 人、財、資金、情報、技術、知識の集積とこれらの好循環を図り、地域の主体性のもとに自律的に地域が発展する仕組みを構築することが重要ではないか。

5) 安全・安心な国土づくり

- ・ 自然災害に対する脆弱性が大きな課題で、代替の確保等が重要な論点。また、防災の視点だけではだめで、日常の他の産業や生活に使えるといったデュアルユースという視点が必要。[田中委員]
- ・ 大規模自然災害への対応は重要な国家的課題。[濱田委員]
- ・ 首都圏等で近い将来に予想される大規模自然災害(特に地震)への対応として北海道が貢献できるのではないか。[濱田委員]
- ・ 国防には3つの視点(防塁などの直接的防災体制の整備、 有事の際のモビリティを高めておくこと、 交易による安全保障)がある。これからの北海道を考えると、国防の役割のうち、特に2つ目、3つ目の視点から果たすべき役割を検討することが必要。[家田委員]

- ・ 国として、国土保全よりも更に大きな**国土防衛の観点**がより重要になっており、国民的な観点からも**地域に求められる役割が高まっている**。[櫻井委員]

➡ 安全・安心が確保された国土の姿をビジョンとして示すことが重要ではないか。

- ・ (成長・生活の基盤である) **居住環境の良好なストック化**が北海道では不十分。[家田委員]
- ・ 基本は自助努力であるが、自立していないということと未整備とは別であり、**未整備のところは整備すべき**。[石橋副社長(狩野委員代理)]
- ・ 市町村には**山林等の自然などを維持し守っていく責務**がある。[三本課長(北委員代理)]

➡ 自然資源との調和のとれた良質なストックの形成が重要ではないか。

6) 北海道の圏域の捉え方

- ・ 北海道の各圏域は2～3県に相当する広さがあり、**地域に着目した議論が必要**であると共に、**様々な圏域の捉え方**がある。北海道の広さ、人口の少なさを前提に考える必要がある。[南山部会長]
- ・ これまで6圏域をベースに議論してきたが、稚内・紋別・浦河のように**特だして議論した方がよい地域**がある。[田村委員]
- ・ 北海道は一括りにするのはあまりに広く、**カテゴライズをする必要がある**。[狩野委員、川島委員、小磯委員]
- ・ 北海道全体の議論だけでなく、各圏域や集落など**地域の単位での議論によっても北海道独自の工夫ができる部分が見えてくる**。[田村委員]

➡ 人的な資源、社会基盤、自然環境などの地域間の資源・特性の多様性を踏まえ、自然や環境の保全、安全で安心な食料の供給など地域の担う国家的に重要な役割をもとに、圏域として実現すべき将来の姿を示すことが重要ではないか。

本資料は、第1回～第3回基本政策部会の方のご発言及び個別に委員からいただいたご意見をもとに、事務局の責任においてとりまとめたものであり、未定稿です。